

SBIグループの社会貢献

SBIグループは本業の事業活動を通じて社会に貢献することを第一の目標とし、グループの成長が社会の発展および持続可能な社会の実現に寄与していくことを実証し続けています。そして、社会のなかでゴーイング・コンサーンとして存在し、永続的に当社グループを進化させていきます。

SBIグループが考えるサステナビリティ

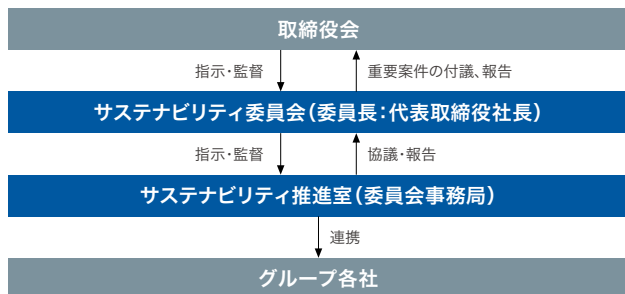
企業を取り巻くステークホルダー（利害関係者）とは、顧客、株主の皆さまや従業員だけではありません。これらに加え、一般消費者、取引先、あるいは広く地域社会などによって構成されています。

だからこそSBIグループは、企業の社会性を強く認識し、社会の維持・発展に貢献しなければなりません。そして本業の事業活動を通じて社会に貢献することを第一の目標とするのは当然として、より直接的にも社会に貢献するような戦略を構築し実践することで、企業の社会性は持続的に高まると考えています。こうした認識を以て、事業を営んでいく過程で、社会的信用を獲得していくことが不可欠です。SBIグループは創業来、「顧客中心主義」の基本観に基づき徹底的に顧客志向型の事業を行うとともに、世の中の不条理な部分とされる様々な社会課題を特に金融面で変革し、新たな付加価値を創出し続けてきました。

これからもSBIグループは、社会との連帯のうちにゴーイング・コンサーンとして存在していくために、サステナビリティの推進をより一層強化し、社会的信用の獲得に向けた事業を展開していきます。

サステナビリティ推進体制

業務執行取締役で構成され代表取締役社長を委員長とする「サステナビリティ委員会」を当社取締役会の下に設置しています。同委員会は、原則年2回以上開催し、SBIグループの経営戦略の一環として、サステナビリティに関する戦略的な取り組みを議論し決定するだけでなく、取り組み状況の確認・審議を行い、その内容を必要に応じて年に2回以上、取締役会に報告しています。また、同委員会での審議を経て決定されたサステナビリティ施策を、同委員会の事務局を担う「サステナビリティ推進室」を通じて、



グループ各社に連携しSBIグループ全体に展開・推進しています。

このように、当社は社会課題の解決による持続可能な社会の実現と、持続的な企業価値向上の両立に向けた適切な体制を整え、施策の更なる実効性を確保しています。なお、サステナビリティ委員会は、2023年度においては2回開催しています。

SBIグループのマテリアリティ (持続的な企業価値向上のための重要課題)

SBIグループは、社会との共生により持続的に成長するため、事業を通じて取り組むべき課題を抽出するべく、GRIスタンダードや「持続可能な開発目標(SDGs)」などの国際的な枠組み・ガイドラインを踏まえ、「解決すべき社会・環境課題」と「SBIグループの企業価値向上」の両軸で事業機会とリスクを整理し、「SBIグループのマテリアリティ(持続的な企業価値向上のための重要課題)」として策定しています。

なお、本マテリアリティについては、中長期的なグループ経営戦略の変更や刷新、社会情勢の変化等を踏まえ、継続的に見直しを行っていきます。

マテリアリティの特定プロセス

STEP 1 社会課題の抽出

- 中長期的な社会動向、国際的な枠組み・ガイドライン、SBIグループの方向性等を踏まえて社会課題を抽出。

STEP 2 社会課題の重要性評価

- 社会にとっての影響度やステークホルダー（株主・顧客・取引先・従業員・地域社会／NPO）からの意見などに基づいて、社会的要請と経営的要請の観点で「ステークホルダーにとっての重要性」を評価。
- 「経営理念」や「事業構築の基本観」「企業観」および社内主要部署へのヒアリングに基づき「SBIグループの事業との関連性(重要度)」を評価。

STEP 3 優先的に取り組むべき重要課題案を策定

- STEP 2の評価結果をもとに、サステナビリティ推進室にて「課題解決に向けてどのような貢献が可能か」「課題解決に向けた取り組みが中長期的なグループ戦略とアラインするか」等の妥当性の観点から各事業の該当施策と照らし、優先的に取り組むべき重点分野および重要課題をマテリアリティ案として策定。

STEP 4 経営層による議論と決定

- 代表取締役社長が委員長を務めるサステナビリティ委員会で議論を経て決定。サステナビリティ委員会での決定事項については取締役会への報告も実施。

マテリアリティ	取り組み事例	目標(KPI)	2024年3月期までの実績
新たな社会潮流や顧客ニーズを捉えた付加価値の創出	- 一人ひとりのライフスタイルに沿った資産形成機会の提供 - 顧客便益性を一層高める金融サービスの提供 - デジタルアセットを基盤とする企業生態系の構築	- お客さまサービスにおいて顧客満足度評価など第三者による評価で高水準を維持する - SBI証券でのオンラインの国内株式売買委託手数料無料化は、2024年3月期上半期中の具現化を目指す - 社会的な潮流やニーズを捉えた提供商品の多様化により、2027年度中に運用資産残高20兆円を目指す	- 外部評価機関からの高評価 → P.64 2023年9月30日発注分から、「ゼロ革命」と題して、オンラインの国内株式売買委託手数料の無料化を実施。その後、サービス内容を順次拡充 2024年3月末時点のSBIグループの運用資産残高は約9.8兆円
新産業の育成と技術革新への貢献	21世紀の中核的産業の創造および育成 - 革新的な金融サービスの提供 - 業界横断的な技術の拡散	- 最先端のサービス・テクノロジーへ投資を行う1,000億円規模の新ファンドを2023年度に設立する - セキュリティ・トークン(ST)等の次世代金融商品の普及に向けて、ST流通市場を2023年内に創出 - 次世代金融商品であるSTの普及に向けて、大阪デジタルエクスチェンジは2026年3月までに取扱時価総額1,000億円を目指す	- 最大1,000億円規模の新たな旗艦ファンド「SBIデジタルスペースファンド」を設立し、2023年11月から本格的に運用を開始 2023年12月25日より大阪デジタルエクスチェンジがST取引に係る私設取引システムである「START(スタート)」において売買取引を開始
ステークホルダーと協働した社会課題の解決と経済の活性化	- 地方創生に寄与する事業の推進 - パートナー企業とのアライアンスの拡大と深化 - 価値共創によるイノベーションの促進	- 日本全国の事業承継支援のため、2025年までに累計1,000億円規模のファンド設立を目指す - 地域金融機関のシステムコストの削減および平準化に向けて次世代バンキングシステムを開発し、2030年度までに地域金融機関10行での導入を目指す	- SBI地域事業承継投資では累計約400億円のファンドを設立 - 次世代バンキングシステムの導入内定行数2行
豊かで健康的なサステナブル社会の実現	- サステナブルファイナンスの提供 - グリーン・イノベーションやESGを意識したインパクト投資、ライフサイエンス、ヘルスケア関連の有望なベンチャー企業への投資 - 超高齢社会への対応として、5-アミノレブリン酸(5-ALA)事業等を通じた健康支援 - 医療情報のデジタル化やビッグデータの活用による医療の高度化に貢献	2030年度末までに累計5兆円のサステナブルファイナンスを組成する - SBIグループは国家目標である2050年カーボンニュートラル実現に向けて、当社グループのGHG排出量(Scope1,2)を2050年度までにネットゼロとすることを目標とし、中間目標として2030年度までに2018年度比で33%削減する	2024年3月期におけるSBI新生銀行グループのサステナブルファイナンス組成額9,396億円 - SBIグループのGHG排出量 → P.41
将来を担う世代への支援	- 公益財団法人SBI子ども希望財団を通じた児童福祉の充実および向上への寄与 - 学校法人SBI大学を通じた次世代を担う人物の育成		- SBI子ども希望財団による助成実施累計金額は約12億1千万円 - SBI大学院大学では累計576名の修了生を輩出
多様な価値観を尊重し受け入れる組織風土の醸成	- ダイバーシティ&インクルージョンの推進 - 従業員の能力開発を通じた人材価値の継続的な向上 - 個性や人との違いを尊重できる柔軟な働き方の整備	- SBIホールディングスの女性管理職比率は2025年まで継続して20%以上を維持する - SBIグループの外国籍社員比率は2025年までに40%以上を目指す	2024年3月末における当社の女性管理職比率26.1% 2024年3月末における当社グループの外国籍社員比率35.5%(SBI新生銀行グループを除く)
持続的成長を実現する企業体制の強化・充実	- 透明性・独立性が確保された意思決定プロセスの構築 - 事業機会とリスクを想定した経営戦略の立案やリスクマネジメントの実行 - 内部統制システムの整備と適正な運用	- グループ全体でのコンプライアンス体制構築のための会議や役職員向けのコンプライアンス研修を定期的の実施する - 年に1回以上、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施し、結果を公表する	2024年3月期のコンプライアンス研修の実施(新入社員向け:10回、全従業員向け:1回) - 取締役会の実効性に関するセルフアセスメントの実施と公表

「サステナビリティ基本方針」「マテリアリティ(重要課題)」の詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください



<https://www.sbigroup.co.jp/sustainability/policy.html>